

2015 年度「日本女性学習財団賞」受賞レポート報告会 パネルフォーラム 学びがひろく

2015 年度「日本女性学習財団賞」決定！

活動や学び、歩いてきた道を男女共同参画の視点で
振り返ったレポートを募集・表彰する「日本女性学
習財団賞」。受賞レポートをもとに、パネルフォー
ラムを開催します。

喜び溢れる贈呈式、全体講評、受賞者と選考委員に
よるトーク・セッションと、あたたかな雰囲気の中、
レポートに対する理解を深めていきます。

どうぞご参加ください。



昨年度パネルフォーラム風景

○ 日時 **2016 年 3 月 5 日 (土) 13:30 – 16:00** (受付開始 13:00)

第 1 部 2015 年度「日本女性学習財団賞」贈呈式

贈呈式

全体講評 足立則夫さん (ジャーナリスト、選考委員長)

第 2 部 トーク・セッション — 受賞者に聞く・受賞者と語る—

登壇者 「日本女性学習財団賞」受賞者と選考委員

奨励賞：佐藤サカエさん (長野県)、松田美八重さん (神奈川県)

選考委員特別賞：植竹恵美香さん (埼玉県)、望月晶子さん (東京都)

- 定員 : 30 人 (先着順)
- 参加費 : 2,000 円 (『2015 年度「日本女性学習財団賞」受賞レポート集 学びがひろく vol.5』含む)
- 会場 : 日本女子会館 5 階 大会議室 (東京都港区芝公園 2-6-8)
- 申込方法 : 電話、メール、FAX (裏面申込書) で財団まで。ホームページからもお申込みいただけます。

■お申し込み・お問い合わせ

公益財団法人

日本女性学習財団

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 5 階

TEL : 03-3434-7575 ■ FAX : 03-3434-8082

HP:<http://www.jawe2011.jp> ■ E-mail:jawe@nifty.com

受賞レポート紹介

◆奨励賞◆ 佐藤サカエさん (長野県)

北国街道小諸宿の女性たちのエンパワーメントの軌跡

昭和40年ごろから小諸の中心商店街はかつての賑わいに影がさし始めた。そこに暮らす女性たちが、誘客作戦を練りながら、エンパワーメントしていく様子を記す。小諸が冬籠りしてしまうかのような厳寒の2月末から3月初旬に、企画、準備、運営全てを女性主導で行う「北国街道小諸宿のお人形さんめぐり」を実施。回を重ねるごとに、賑やかに楽しげに通りを歩く人々が増えて、女性たちのやる気を後押ししてくれるようになっていった。今年12回目、かくして、私の仲間「北国街道小諸宿の女性たち」は憤ましく控えめな女性から、行政に資金補助の談判を行うほどに力をつけてきた。女性が男性の前を歩くなどあってはならないという古い価値観の土地柄が、今、確実に変化してきている。

◆奨励賞◆ 松田美八重さん (神奈川県)

女性として母として、そしてアーティストとして生きる - 「輝く生命 (いのち) の絵画展」事務局を担って-

22歳で受傷、四肢麻痺に。「地域で自立」を目指す障がい者の活動に参加。同時に、絵を描く肢体不自由の仲間「グループ完」に加わる。年に1回の絵画展を開催。「完」結成8年目から事務局を務める。会員は、頸髄損傷、リウマチ、片麻痺、筋ジストロフィ、脳性麻痺と障がいも様々、24時間介護で一人暮らし、施設や病院、家族と同居など、生活もそれぞれで、細やかな配慮が必要となってくる。事務局は、開催準備から絵画展が終了するまで、絵画展に関わる会員とその家族、ボランティアの誰もが「参加している」という意識をもてるよう、手紙、電話、メールで連絡を密にしている。「絵を描くこと」「グループ完の事務局を務めること」に使命感と生き甲斐を感じている。

◆選考委員特別賞◆ 植竹恵美香さん (埼玉県)

女子大生が議員秘書になる

- 学びが開いた政治とジェンダーの道

社会問題に対して無関心であった筆者が、民法改正に興味をもち、大学での学びや市民活動を経て、議員秘書になるまでの自身の内面の変化、現代における政治とジェンダーについて考える。

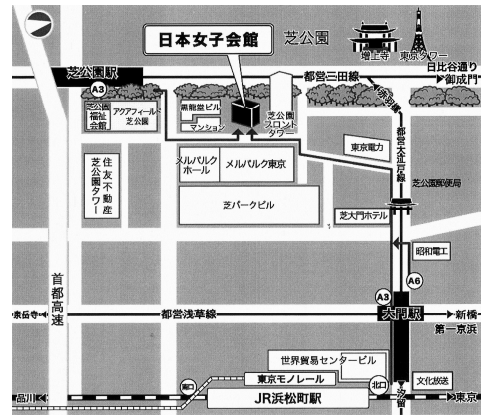
◆選考委員特別賞◆ 望月晶子さん (東京都)

性暴力被害者の支援を行うNPOを設立・運営して

第2次犯罪被害者等基本計画でワンストップ支援センター設置が広く謳われても動かない行政。ならばと、思いを同じくする専門家や被害当事者等でレイブクライシスセンターを設立。その活動と課題を記す。

会場アクセス

- JR浜松町駅北口・徒歩8分
- 都営浅草線・大江戸線大門A6出口・徒歩5分
- 都営三田線芝公園A3出口・徒歩2分



「パネルフォーラム学びがひらく」参加申込書

ふりがな 氏名			所属等	
	(年代: 代)			
住所	〒 -			
電話		FAX		
E-mail		領収書	有 無 「有」の場合は宛名をお書きください。 〔 〕	
講座に期待されること				

FAX: 03-3434-8082 (日本女性学習財団)



財団HPからもお申込みいただけます。
個人情報とは本財団事業の業務以外には使用しません。